目指したい姿（Vision）

移動の障害がある人が、災害時に避難できる

（避難行動要支援者）

避難行動をめぐる3つの視点

WHO

誰が避難を支援するか

HOW

どうやって避難するか

WHERE

どこへ避難するか

※ HOW・WHEREには、避難場所へのルート選定も含む

インクルーシブ防災ウォークは、

これら3つの視点を考えるきっかけとしての位置づけが適当と考えられる

Visionの実現に向けた検討課題

		現状・前提		必要なこと・検討の方向
01	**当事者参加**	現状の参加者は SDC関係者のみ	→	**要支援者本人と、実際に避難を支援する人の参加が必要**
02	**地域連携**	当事者を どう巻き込むか	→	**地域（町内会等）との協働が考えられるか どのようにつながっていくか**
03	**個別避難計画との接続**	同居家族以外の 助けが必要な場合	→	**接続が必要** **本人 ― 個別避難計画（ケアマネ等作成） ― 地域** 地域は、避難の担い手として計画に位置づけられうる

今後の展開（検討）

実際の避難トレーニングも可能か

HOWを重視するなら、「ウォーク」にこだわる必要はあるか